

円山川流域の現状説明 (流域の概要、治水について)

平成15年11月18日

国土交通省 近畿地方整備局
豊岡河川国道事務所

P 1

目次

1 . 円山川の特徴	
1.1 流域の概要	5
1.2 円山川の姿	9
1.3 自然環境	15
1.4 地盤沈下の現状	17
1.5 流域の管理区分	21
2 . 円山川の治水の流れ	
2.1 円山川の誕生	23
2.2 今までの治水対策への取り組み	26
3 . 過去の被災状況	
3.1 過去の被災状況	32
3.2 主要洪水の被災状況	34

P 2

目次

4 . 河川整備の現状

- 4.1 河道内の施設 5 0
- 4.2 河道の整備状況 5 6
- 4.3 洪水が流れる時に阻害となるもの 6 6
- 4.4 流量と流下能力 7 0
- 4.5 今の円山川でどれだけの洪水が流せるか . 7 3
- 4.6 洪水によりどんな被害が起こるか 7 8

5 . 事業への取り組み

- 5.1 従来の治水計画 9 2
- 5.2 自然環境に配慮した事例 1 0 4

1 . 円山川の特徴

1.2 円山川の姿

大磯の大曲がり

明治31年



大正時代の改修図

大磯の大曲がりの
ショートカット

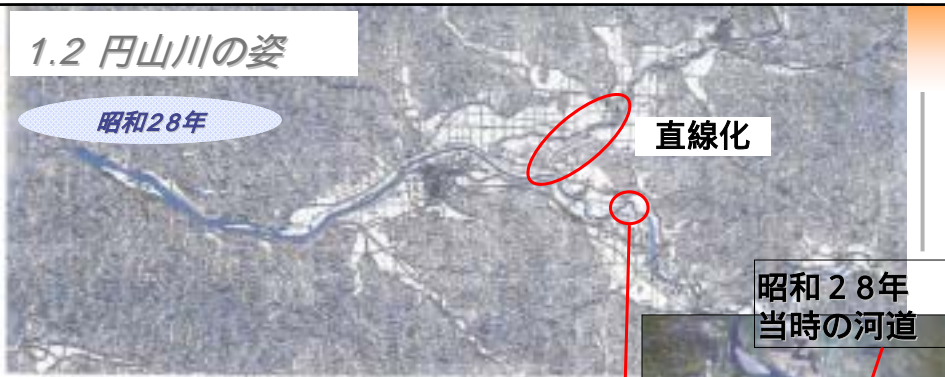


P 9

1.2 円山川の姿

昭和28年

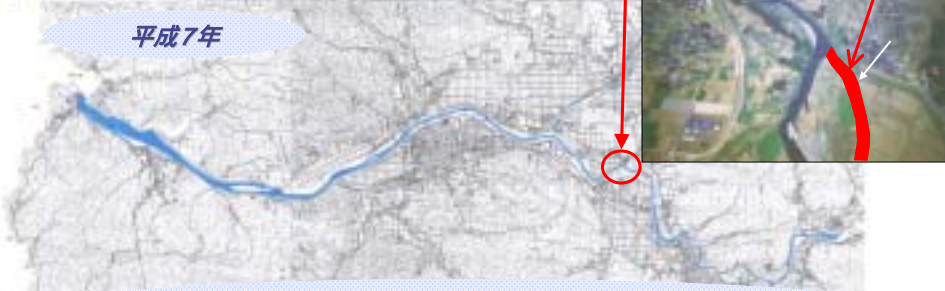
直線化



昭和28年
当時の河道



平成7年



・地図による河道の変遷(昭和28年～平成7年)

P 10

1.2 円山川の姿

写真による河道の変遷(河口～玄武洞付近)

昭和22年



平成12年



P11

1.2 円山川の姿

昭和22年



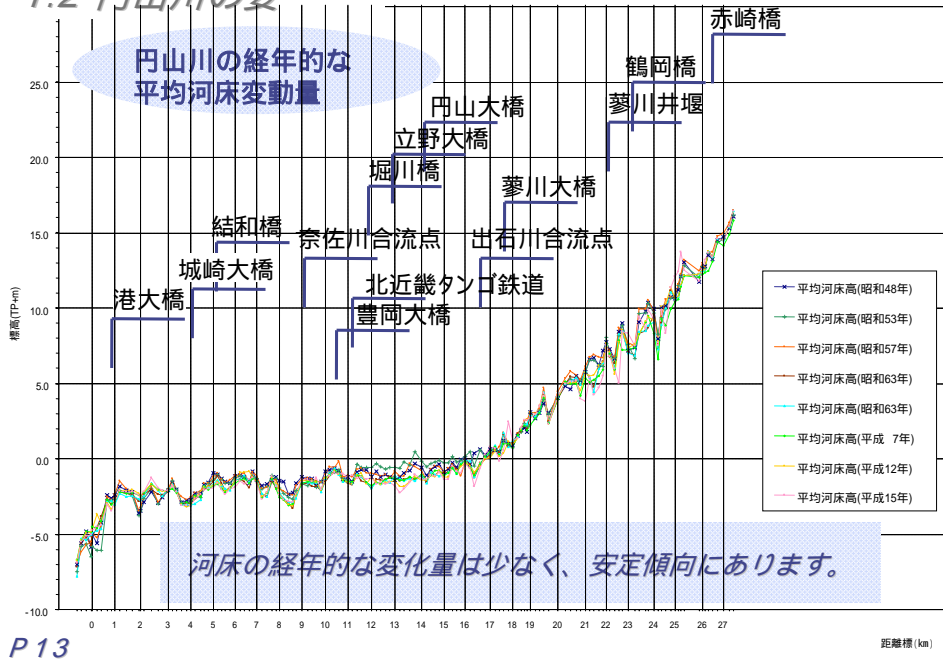
平成14年



写真による河道の変遷(玄武洞付近～豊岡市街地)

P12

1.2 円山川の姿



1.2 円山川の姿

河道の現状



1.3 自然環境



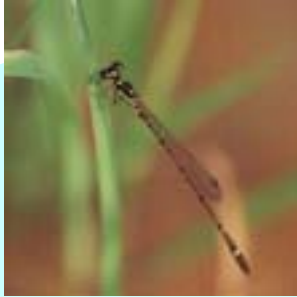
シオクグ (近畿版RDB)



ホソバイヌタデ (RDB絶滅危惧 B類)

円山川では河床勾配が緩いことから多種多様な生物環境が形成されています。

汽水域特有の動植物が生息、生育しています。



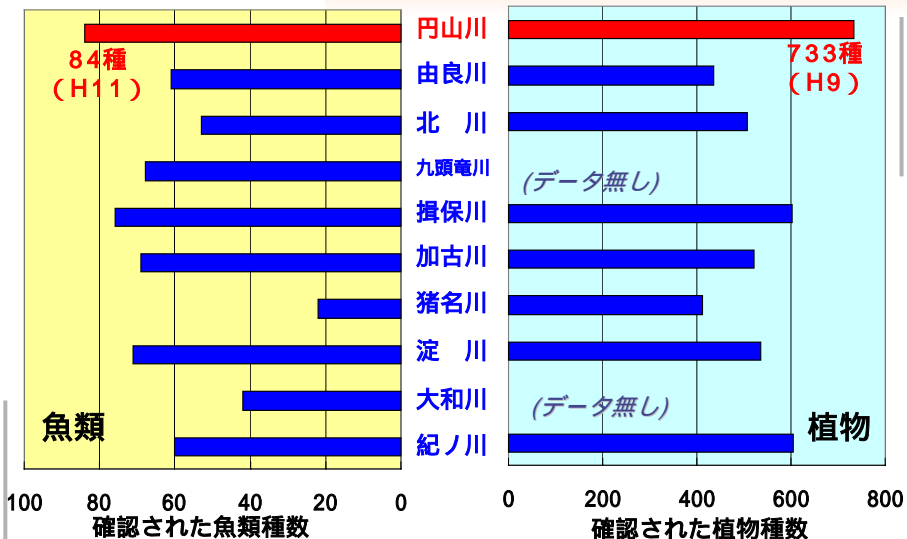
P15 ヒヌマイトトンボ (RDB絶滅危惧種)

下鶴井のヨシ原に代表される自然豊かな環境を有しています。



下鶴井のヨシ原

1.3 自然環境

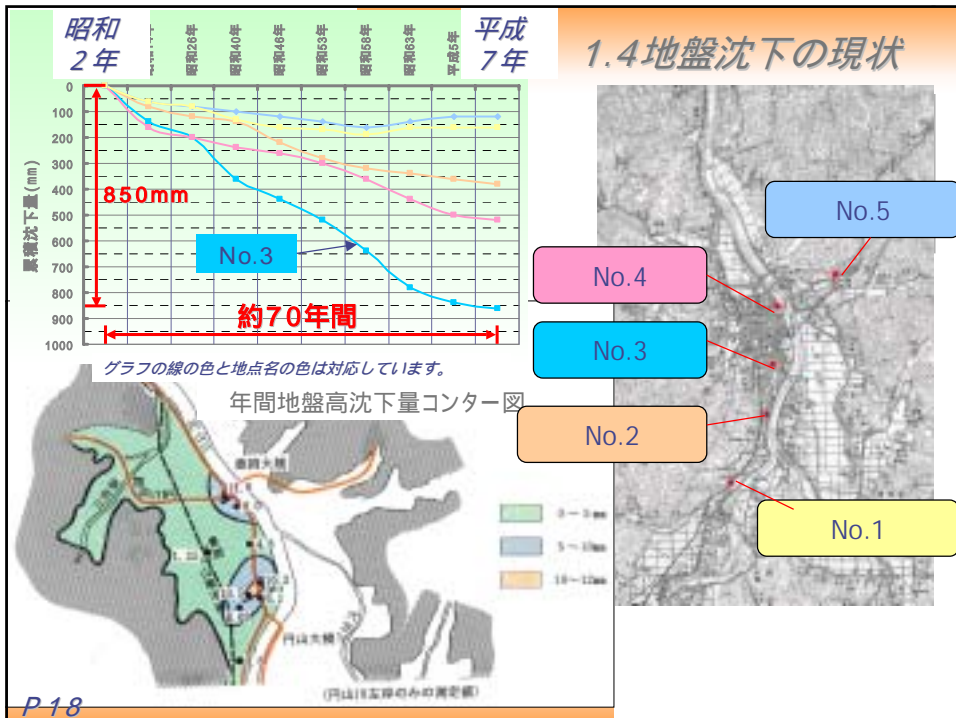
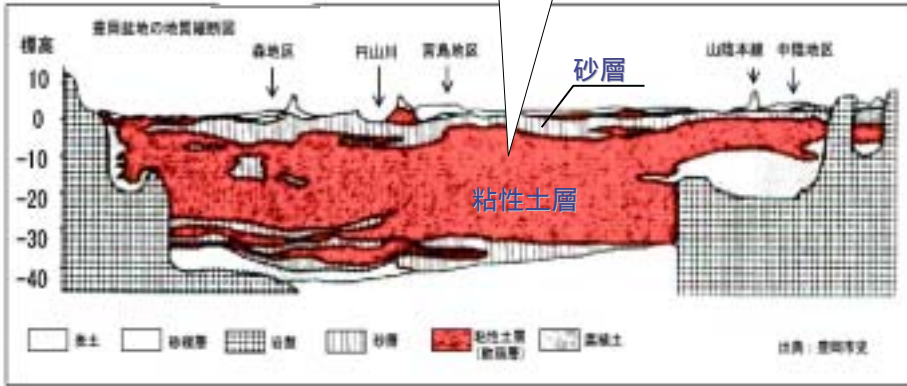


(平成7年度～平成11年度河川水辺の国勢調査結果から作成)

1.4 地盤沈下の現状

流域の地質

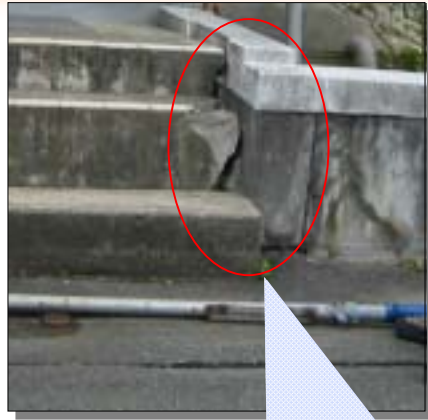
豊岡盆地は粘性土層が40m程度、分布しています。



1.4 地盤沈下の現状



読売新聞(平成2年5月12日)

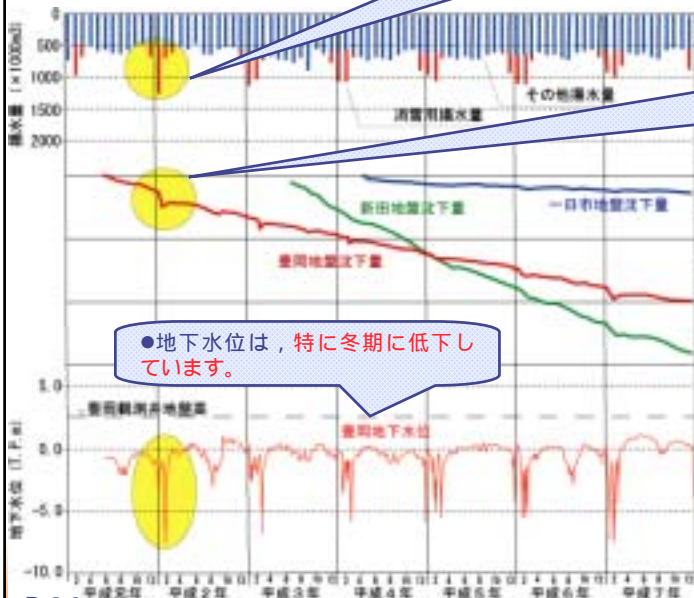


八条ポンプ場では、排水機場は地盤沈下対策を行っているために沈下は生じておりませんが、周りの階段などが沈下しており、写真のようにズレが生じております。

P19

1.4 地盤沈下の現状

●冬期の地下水位低下要因は消雪用揚水



地盤沈下量は揚水量増加・地下水位低下と連動しています。

●地下水位は、特に冬期に低下しています。



P20

1.5 流域の管理区分

- 直轄管理区間
(円山川)河口～赤崎地点27.7k地点
(奈佐川)円山川合流点～4.1k地点
(出石川)円山川合流点～8.7k地点
- 県管理区間・・・直轄管理区間外の流域全て

●円山川下流圏域

●円山川上流圏域

●出石川圏域

